

団体名	民設学童保育を支える会
現場確認日	平成21年10月20日(火)
出席	山口眞弘委員、 小林永季委員
事業の内容	民設学童保育所の支援と新たな事業展開を支援する
補助金額	38,400円



日没までは外で遊び、日が暮れてから家に入る。
17時からは屋内での学習会になる。
学習会は児童全員で40分程度行われる。
視察日は国語の「音読」から始まった。
一人ずつ順番に読んで回る。



(補助対象の保育所内家庭教師の様子)
学童保育の為だけに解放されているこの家は、
集まる子ども全てが兄弟のように親しい。
比較的、夜遅くまで預かるので、ニーズが増え
てきているそうです。

出席委員のコメント

- ・活動内容を直接見ることで、子供達の協調性が育てられていると感じました。
- ・公設の学童保育とは違った面では、保育時間の長さを求めている親子がいることも感じました。
- ・両親の勤めが遅くまである児童が下校後、親と一緒に帰宅するまで保育する事業だけに神経を使い、身体を張る活動だけに安易には取り組めない内容である。
- ・家庭教師として学習指導も行うという事で、学童を預ける保護者も大助かりであろう。
- ・世話になっている児童も立場を自覚しているようで、規律正しく明朗で微笑ましい。
- ・現在10名ほどの預かり児童だが、会員3名では厳しいのではないか？ボランティアを含め交替要員を増やさないと持続性が難しいのではないか。

団体名	NPO法人 湘南いこいの里
現場確認日	平成21年10月30日(金)
出席	奥慶子委員、手塚明美委員
事業の内容	音楽を楽しみ、語学を学びながら人々の交流を図る
補助金額	80,000円



施設の名称を「オアシス」と呼ぶ。
 歌声喫茶月1回(第4木夜6時)等を通じて精神障がい者の方と地域の人との交流を深める事を目的としている。
 英字新聞を読む会は毎週木曜日午前中に行っている。
 奥に会議室もあるが、昼はメンバーの食堂となっている。
 喫茶店は常時オープンしており、誰でも利用できる。(10時~16時)
 リサイクル用品(洋服・小物)販売も行っている。



今回の歌声喫茶はキーボードとギター。
 歌詞カードも配布し、参加者全員で歌い楽しめる「憩いの場」となっている。
 毎回楽しみにしている方や、偶然通りかかった人達で会場は満員になった。

出席委員のコメント

- ・周囲の理解が得られにくく、場所を借りることからご苦労が多かったようですが、今回、町の支援団体になったことでプラスになることを願います。
- ・奥の会議室の貸出しは良い案だと思いました。普段の活動に加えて、こちらも多くの方に利用されるように町などに働きかけるのも方法かと思いました。
 (現在は、通所者が増えるにつれ施設が手狭になり利用制限を行っている)
- ・ご自分達の資源だけではなく、取り込める社会的な資源を有効に活用し、更に法的な拘束にも対応しながら活動を拝見し、今後の発展に期待が出来ました。

団体名	百合が丘地区社協部会
現場確認日	平成21年11月2日(月)
出席	高橋武士副委員長、 小林永季委員
事業の内容	住民による生活支援活動、一人暮らし世帯等の安心電話サービス
補助金額	77,600円



百合が丘老人憩いの家の一角を拠点として活動を行っている。



2か月に一度行われる、福祉ネットワークコーディネート会議の様子

コーディネーターの報告では、台風の際に独居老人等登録者の方々に安否確認をしたところ非常に喜ばれたなどの報告もあがっていました。

多くの課題等の報告もありましたが、本格的な高齢化社会に向けて二宮町の中では先進的な活動をされています。

出席委員のコメント

- ・ 1人暮らしの人への気遣いや、声かけをされている報告を、コーディネーターの方々が発表しあい地域の連携を図る活動の必要性を議論されていました。
- ・ 1人暮らしの高齢者へ、声かけ等自立支援に向けて熱心に取り組む先駆的活動は、心の触れ合う人づくりと、街づくりへの礎として粘り強い地域力の広がりを今後も期待したいです。

団体名	長寿の里国際交流会
現場確認日	平成21年11月8日(日)
出席	山内和夫委員長、 西方政雄委員、 関野勝治委員
事業の内容	ワイン等、ヴェラノポリス特産品の普及と交換留学受け入れ
補助金額	74,600円



11月8日のラディアンで行われた『湘南にのみやふるさとまつり』において、長寿の里国際交流会のブースが設けられました。



当日は、長寿をキーワードに交流を進めている、ブラジル・ベラノポリス市の紹介や、ワイン等の物産の展示や販売なども行っていました。ワインの試飲には、多くの方が集まっていました。

出席委員のコメント

- ・ 盛況で何よりだと思いました。ただ、他店も頑張っておりますので、さらに知恵と工夫を出し、他店を凌駕するのはもちろんですが、ブラジルについて二宮町のこの会と言われるようなブランド化を目指して下さい。ワインも結構だったと思います。
- ・ 生涯学習センター（ラディアン）で開催された「湘南にのみやふるさとまつり」の会場内に出店された。当日は、交流を進めているブラジル・ベラノポリス市の紹介やブラジルからの直輸入したワイン等の販売や試飲などの活動をされていました。

団体名	花の和
現場確認日	平成21年11月19日(木)
出席	高橋武士副委員長、山口眞弘委員、小林永季委員
事業の内容	毎週、小学校三校への花の生け込み
補助金額	77,300円



総合学習（にのっこパーク）の一環で、花の和の会員の皆さんが講師としてクリスマスのフラワーアレンジメントを指導

給食で飲んだ牛乳パックをリサイクルして作った花瓶にバラやカーネーションの花を思い思いに生け込む。一つとして同じ物はなく、子ども達も自分だけのオリジナルの花に満足そうでした。



（補助金対象）

花の和の方々が町内各小学校に出向いて毎週、月曜日に花を生け込み、金曜日に回収をしている。

写真は二宮小学校の昇降口（3か所）に置かれているものです。校舎の片隅ではありますが、子ども達の心を癒し、和やかな雰囲気にしてくれます。

出席委員のコメント

- ・花の生け込みにも、10数名のボランティアの人たちの参加で成り立っていました。
- ・花を通して、命の大切さも子供たちに伝えていました。
- ・低学年生参加による工作は、戸惑いながらも完成して赤いバラ等が活けられると、教室は明るくはなやいだ。又、花にも命があることの大切さと静かに聴き入る児童の眼差しが、印象に残る授業でした。
- ・希望した児童が花器（サンタの赤い靴）作りを含め一生懸命に取り組んだ。花の和の会員と児童の保護者が熱心に指導したが明るく華やいだ雰囲気に溢れていた。
- ・花の和の事業は、日頃の町内5校への花の生け込みと併せ、児童生徒の情操教育に多大な寄与をしているものと思料する。

団体名	湘南二宮・ふるさと炭焼き会
現場確認日	平成21年11月25日(水)
出席	岡野里美委員、 関野勝治委員、 西山力委員
事業の内容	生産拡大に伴う在庫量保管の為、仮設製品倉庫を新たに設ける
補助金額	89,100円



補助金対象の炭焼きの炭や資材を保管するための小屋です。

小屋は会員自らが作業をして造り上げた。資金の足りない部分は、古材などを使用した作業であったとの事だが、丈夫で立派な小屋が出来上がっていました。



写真は平成12年に山北町の職人により造られた原木の炭焼窯で、竹についてはドラム缶を利用した窯で炭焼を行う。

48時間かけて原木を蒸し焼きにして200~250kgの炭をつくる。炭の原木はマツ、クヌギ、ナラが良く、スギやヒノキは適さないとの事です。

窯の中に入り、原木を並べる作業がひと苦勞との事です。

出席委員のコメント

- ・ 高齢化の中での重労働は大変なことでしょう。もっと若い労力の呼びかけを考える手段の必要性を感じました。手作りの良さと重労働の大変さ活動のアピール等、今後の更なる活躍を望みます。
- ・ 生産力アップ後の活動に際し、炭、木酢液の有効利用を幅広く町民への理解と参加が出来るよう宣伝普及にも力を入れていただきたいと思います。
- ・ 廃材を活用しての炭作りは大いに価値があり、規格外の炭を溜めての河川浄化に使用していることも素晴らしく、会員も責務を感じながら仕事をしている。
- ・ 防寒体制が整っておらず、高齢者も多いため健康面では危惧される。
- ・ 炭焼き窯では、メンバーが狭い窯の中に入り炭をつくる原木を丁寧に並べる作業をしていましたが窮屈な姿勢で大変な作業でした。
- ・ 補助事業の小屋は整地された土地にメンバーがしっかりした古材などを用いて、丈夫で立派な小屋がほぼ出来上がっており、残りの外壁は環境に配慮した竹材を張り仕上げるとのことです。
- ・ 小屋は木造亜鉛メッキ鋼板葺平屋の基礎はブロック積み仕様で、床面積は10㎡程とのこと。